

# 豊川の県道、東三河環状線の高架橋下で

## 国府高生徒ら清掃活動

名豊道路の開通で交通量が増えている豊川市白鳥町の県道31号東三河環状線の高架橋下で、近隣の県立国府高校の生徒や教員ら10人が29

日、清掃活動をした。掃除をしたのは県道の側道と国道1号が交わる京次西交差点の西側。信号待ちの車の運転手らが捨てたとされるごみが分離帯に散乱しており、軍手やごみばさみを使って回収した。45リットルの袋が



40袋以上に上り、ペットボトルや空き缶が約9割で、残りは瓶や弁当の空き箱、菓子の袋だった。市内に住むプロモ

ート経営事務所の後藤靖治さんが3年前からごみが多いのを気にかけて、昨年4月に有志と清掃を实

回収したごみを袋に入れていく高校生たち(豊川市白鳥町で) れいにしたかった、浦野雪穂さん(17)も「ボランティアは初めてなので経験してみたかった」と話した。

参加した倉橋英樹市議と神谷謙太郎市議が、県運転免許センターの講習にごみ捨てのマナー向上を提案する考えだ。

(由本裕貴)